



推進隊だより

H30.4月発行 第19号



教育福祉部会



活動報告



バレンタイン♥イルミネーション in NIO 2018 ~ときめく想いを 光にこめて~



【旧 三豊工業高等学校（現 観音寺総合高等学校）】生徒作のかぼちゃの馬車は今年もたくさんの方にご好評頂きました。

【香川高専詫間キャンパス】影に連動するデジタルアートや対戦型の乗馬ゲーム等、子供達に大人気な映像アトラクションを提供して頂きました。



【仁尾小学校合奏隊】 Mr.Children『HANABI』と SEKAI NO OWARI『RPG』の2曲を演奏してくれました。



【曾保小学校オレンジキッズ】は、鈴とハンドベルの演奏で『星に願いを』、SMAP『世界に一つだけの花』の合唱と、ハンドベル演奏で星野源『恋』を披露してくれました。



【仁尾町児童館】全国コンクールで防災担当大臣賞を受賞した防災マップの発表と、『がんばれ！さぬきっこ』の合唱を披露してくれました。

2月10日（土） 市民センター仁尾及び仁尾町体育センターにて『バレンタイン・イルミネーション in NIO 2018~ときめく想いを 光にこめて~』点灯式が開催されました。イルミネーションに先立ち、今年も小中学生が日頃の練習の成果を発表・披露してくれました。観客の皆さんも研究発表に感心したり、演技演奏に感動した様子でした。また、司会進行は仁尾中学校生徒会の3名が務めてくれました。



いろいろとご協力頂きました皆様方、ありがとうございました。



【詫間シーマックスダンスチーム】軽快なリズムに乗せて華麗なダンスと元気いっぱいのチアダンスを披露してくれました。



【仁尾中学校吹奏楽部】吹奏楽の定番曲『ロマンスク』、米津玄師の『ピースサイン』、GReeeeN『キセキ』、星野源『恋』は曲に合わせて“恋ダンス”も披露！最後は多くのアンコールにジャズの代表曲『ツグツグツグ』の演奏で応えて頂きました。

安心安全部会

南海トラフ地震に備えて身を守ろう！



15,000人以上の尊い命を奪った東日本大震災。あの悪夢の日から7年目を迎えました。地震列島の日本に暮らしている限り、地震災害は対岸の火事ではありません。仁尾町においても南海トラフ地震の発生で震度7、津波の水位は観音寺港で3.4mの発生が懸念されています。来るべき災害を知った上で、自宅の耐震化や家具の転倒防止等備えをする必要があります。

まちづくり推進隊仁尾では、これまで3年間に渡って町内3カ所の緊急避難所に様々な物資を備蓄して参りました。今年度は、熊本への視察研修で市の担当者からお伺いした経験談を踏まえ、一番困ったトイレの問題と、次に困った水の確保について安心安全部会で協議し、簡易トイレを配備することにしました。

3月7日（水）に仁尾小学校、曾保小学校、家の浦地区に計7台の簡易トイレを配備しました。当日は6年生46名と校長・教頭、推進隊から6名が参加し、児童の皆さんに簡易トイレの組み立てや使い方を体験して頂きました。

地域の子供達が、将来の防災リーダーとして活躍していただけることを期待し、危機感を持った防災への取組みをこれからも継続していきたいと思ひます。



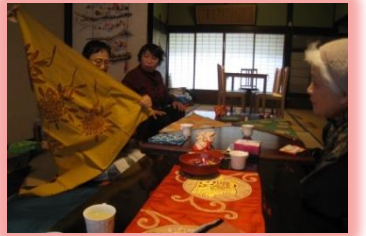
観光部会

平田屋で風呂敷包み講習会を開催



2月12日（月）平田屋にて「風呂敷包み講習会」を開催しました。風呂敷包みの先生をお招きし、本格的な風呂敷の包み方を教えていただきました。講習ではワインボトルを包みました。皆でワイワイ楽しくお話ししながら、風呂敷の包み方を教えてもらいます。いざ完成すると、想像していたよりもずっときれいに包めて驚きました！風呂敷で包むだけで、すごく立派に見えますね。色々な包み方があって、風呂敷ってすごいなと思いました。これでちょっとした贈り物は、風呂敷に包めるようになりました。町を歩く人たちがおしゃれな風呂敷で荷物を持っていれば、古い仁尾の町並みも、グッと雰囲気のあるものになりますよね。風呂敷包みを片手に仁尾を歩くのが楽しみです。

とても好評だったので、また次回も開催したいと思ひます。ご興味のある方はぜひご参加下さい。



研修調査広報部会

広島県神石高原町へ視察研修に行ってきました！



1月22日（月）広島県神石高原町に会員18名でまちづくり活動の先進地視察研修に行ってきました。午前中は神石高原町役場にお伺いし、都市部への人口流出や少子高齢化により加速する過疎化、

また地方交付税の縮小や社会保障費増大による厳しい財政状況など、同じ課題を抱えた地域での取組みを学びました。住民自治組織を活性化させる為に各種団体が一堂に集まって話し合う円卓会議の開催や、流入人口を増やすべく移住希望者が一定期間お試しで生活できる制度など参考となる様々な事例を分かりやすくご説明頂きました。



同日午後からは、ナマズ養殖で地域おこしに取り組んでいる広島県立油木高校で、産業ビジネス科の生徒と教員による休耕田を利用したナマズ養殖に関する9年間の道のりについてお話をお伺いしました。

蒲焼丼、刺身やフライなど商品化までの加工・調理法の研究・開発やPR活動、人工孵化から成魚まで育てる完全養殖の奮闘の記録はとても興味深く参加者の方々からは次々と質問が飛び交いました。

今回、2カ所の視察研修先で学んだことを活かし、まちづくり推進隊仁尾6年目も活発に活動していきたいと思ひます。

